

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

493

小児慢性特定疾病事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	4	保健医療対策の推進
取組方針	1	難病患者への相談支援体制の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	衛生費		
	項	保健衛生費		
	目	母子衛生費		
	大事業	母子衛生事業		
	中事業	小児慢性特定疾病事業		

事業種別	継続		関連個別計画	地域保健医療計画 次世代育成支援行動計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	保健対策課	豊田 忠彦 488-5115
事業実施の根拠法令	児童福祉法		関連課			

1 事業内容

	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
事業目的	小児慢性特定疾病児童の健全育成を図るとともに、家庭における医療費負担等の軽減を図ることで、生活支援を図る。		長期にわたる治療による負担は、児童及び家族の身体精神的、社会的、経済的な負担を生じることとなる。良質かつ適切な小児慢性特定疾病医療支援を実施し、また小児慢性特定疾病児童等の健全育成に係る事業を推進する。 ①小児慢性特定疾病児童に対する医療費の助成 ②医療費助成の対象児童宅を訪問し、療育に関する相談支援を行う療育相談事業の実施 ③家族交流会の開催（介護者支援事業） ④対象児童同士の交流会の開催（相互交流事業） ⑤自宅の療養に必要となる日常生活用具（人工鼻、ネブライザー、たん吸引機等）の給付			
事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	
	医療費の助成を行った。給付延件数3,965件 個別訪問による療育に関する相談支援を行った。訪問件数 13件 家族交流会を3回開催した。日常生活用具の給付を行った。給付件数 3件	医療費の助成を行った。給付延件数4,014件 個別訪問による療育に関する相談支援を行った。訪問件数 32件 家族交流会を1回開催した。日常生活用具の給付を行った。給付件数 2件	医療費の助成を行った。給付延件数4,184件 個別訪問による療育に関する相談支援を行った。訪問件数 39件 日常生活用具の給付を行った。給付件数 2件	医療費の給付 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の実施 日常生活用具の給付	医療費の給付 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の実施 日常生活用具の給付	

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	75,961	91,679	90,083	92,067	91,889	98,887	93,411	0	93,411	0
伸び率（%）	△11.2%	14.2%	18.6%	0.4%	2%	7.4%	1.7%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	9,379	8,664	8,694	7,578	6,554	6,554	6,794	0	6,794
	正規職員以外	1,287	1,233	1,199	1,199	1,191	1,216	1,018	0	1,018
	小計	10,666	9,897	9,893	8,777	7,745	7,770	7,812	0	7,812
国庫支出金	37,078	44,800	44,413	46,978	46,133	45,588	46,318	0	46,318	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源（税等）	38,883	46,879	45,670	45,089	45,756	53,299	47,093	0	47,093	0
所要人数（人）	正規職員	1.18	1.09	1.09	0.95	0.82	0.82	0.85	0.00	0.85
	正規職員以外	0.48	0.46	0.48	0.48	0.48	0.49	0.41	0.00	0.41
主な予算内訳	国指定疾患医療費 89,520千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
新規・継続給付申請受付件数		件	目標値					
			実績値	363	370	390		
			達成度(%)	0%	0%	0%	0%	%
訪問相談件数		件	目標値					
			実績値	13	32	39		
			達成度(%)	0%	0%	0%	0%	%
医療費の給付件数		件	目標値					
			実績値	3965	4014	4184		
			達成度(%)	0%	0%	0%	0%	%
			目標値					
成果指標			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	平成30年4月に医療費助成等の対象となる疾病数が722疾病から756疾病に拡大された。対象疾病の増加に加えて、制度そのものの周知が進むことで、給付対象者も今後増加することが見込まれる。
見直し・改善内容	個別支援を通じ保護者の意見や要望を把握することを重点に置き、ニーズの高い事業を中心に実施していく。